

令和2年度立案施策の課題

1 ビジネスニーズ参入支援事業補助金

●補助枠・補助率の見直し

→受付が7月で終了するほど申請が多かった。チャレンジする事業者を支援するために見直しを検討

【参考】

補助率（額）：補助率対象経費の1/2（上限50万円）

予算：300万円

●補助対象事業とするかの判断が難しい

→例えば、既存事業の宣伝広告を新たな媒体（方法）で行う取り組みを新たな事業展開と捉えることができるか等、判断が難しい事例があった。

例）HPを持っているが、ユーチューブやSNS等での宣伝に力を入れていく

（参考）

属性	既存事業	新たな事業展開の内容
個人事業主	飲食業	テイクアウトの開始
個人事業主	個人作家	コワーキングスペースの運営
個人事業主	飲食業	キッチンカーによる移動販売
企業	食品卸売業	調理済み惣菜等の小売り
企業	クリーニング業	洗濯代行サービスの開始
企業	塗装業	小売業 →クラウドファンディングを用いて、海外の先進的・独創的な商品のテストマーケティングを行い、結果に応じてECサイトなどで販売していく取組み
企業	砂利採取選別業	緊急時（災害時など）のドローン飛行による現場の状況把握（測量、撮影、データの収集など）

2 サテライトオフィス等進出事業費補助金

【サテライトオフィス】

- 対外的なアピールの必要性

→現在、市のHPや県のポータルサイト、静岡県東京事務所へ補助制度の情報提供（別紙チラシ【資料3】）をしたが、さらに効果的な手法が必要と考える。

→誘致のポイントは、地域の課題を解決できる企業をターゲットにすることであるが、島田市の課題として委員が考えるものは何か

【シェアオフィス】

- シェアオフィスの必要性と設置場所

→今後テレワークがより普及していくと考えられるが、在宅勤務の選択肢もある中で、島田市の規模ではどれほどの数が必要になってくるか

→市内全域を対象としている（中心市街地では補助率が上がる）が、事業としてみた際に集客面など考えると中心市街地以外の施設に対する補助は効果的なものとなるのか

【本社機能の移転】

- 対象者の限定

→初年度、市外事業者が要件を満たせば補助対象とした。近隣市町からの移転は地域経済の活性化に繋がるころではあるが、サテライト・シェアオフィスから本社機能移転に繋げたい点を大きな目標とする以上、県外企業を前提にする条件にした方が施策としての統一感・ストーリー性があるのではないか

(参考)

属性	区分	事業所所在地 業種	概要
企業	シェアオフィス	静岡市 情報通信	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大津地区への設置を考えている ・ 代表者は島田市出身 ・ ワークーション等ができる施設を開設したいとの思いがある ・ ターゲットは首都圏のIT企業 ・ ワークーション実施時の余暇の過ごし方について県内企業と企画中 ・ 本事業でにぎわいを創出したいと考えている
企業	シェアオフィス	島田市 機械設計・製作	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中溝町への設置を考えている ・ 農業用倉庫を改修する予定 ・ 個人事業主から法人成りした経験を活かし、起業・創業意欲のある方を支援するための場としたいと考えている
個人事業主	シェアオフィス	島田市 建築設計	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地内への設置を考えている ・ 空きテナントを賃借する予定 ・ 補修工事等を行い、テナント入居の促進を図っており活用に力を入れている物件 ・ 島田市に進出したいという事業者の拠点、独立したばかりの事業者がステップアップしていくための場としたい思いがある ・ 市街地の活性化には若い力が必要で、そのような方々の拠点になっていくことで市街地の活性化にも繋げていきたいと考えている。
企業	本社移転	藤枝市 製造・加工	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本社を島田市（東町）か静岡市に移そうと考えている ・ 最終的に島田市に本店移転する事が決定し、申請に至る。